

# あかとう堂々

発行/飯綱町役場 企画課 地域振興係

Tel : 026 - 253 - 2511 FAX : 026 - 253 - 5055 E-mail : [shinko@town.iizuna.nagano.jp](mailto:shinko@town.iizuna.nagano.jp)

赤東未来創造プロジェクト 集落支援事務局&lt;&lt;赤東コミュニティ消防センター2F&gt;&gt;

携帯 : 080 - 7733 - 5627 E-mail : [shurakushien@gmail.com](mailto:shurakushien@gmail.com)

## 閉校までにしてほしい思いを届ける 第二小『閉校に向けてのアンケート』より

三水第二小学校では、今年度始めに『閉校に向けてのアンケート』を、在校生及びその保護者に向けて行いました。

遊びを基本としながら、交流や創造するもの、イベント、学習調査的なものと、多岐にわたって夢や希望が書かれました。そのほんの一部をご紹介します。

### 《食》

- ・バーベキュー・スウィーツパーティー
- ・校舎の階段を利用し流しそうめん
- ・地域の人たちと一緒に給食廊下を使って長い手巻き寿司

### 《交流》

- ・地域の人と運動会や音楽会
- ・地域の人を交えてタイムカプセル
- ・サマーキャンプや三水っ子祭りに第一小の人を招待
- ・学校対抗鬼ごっこ
- ・タンザニアの子供たちと交流

### 《創造》

- ・赤塩焼きの復活で作品作り
- ・みんなで大きなもの(記念品)を作る
- ・地域の人と一緒に巨大アート(壁画作成)
- ・地域の人と俳句や写生大会
- ・ふるさとCM大賞に応募
- ・赤塩集落の縮小模型(ジオラマ)写真集



第二小校庭運動会(五月二十八日)。この光景も、来年を残し見られなくなる。

### 《遊ぶ・イベント》

- ・学校内及び周辺できもだめし(お化け屋敷)
- ・大人と子供で赤塩一周
- ・学校でお泊り会
- ・未成年の主張
- ・校舎の壁に大きな幕でスクリーンをつくり野外映画祭
- ・校舎内全部又は体育館でドミノ倒し
- ・プロジェクトジョンマッピング
- ・お笑い大会

### 《調べる》

- ・第二小の歴史
- ・第二小の七不思議
- ・天体観測
- ・「探検ぼうのまら」のようなくことをして発表

### 《その他》

- ・全校で旅行
- ・桜の植樹
- ・校舎にライトアップ
- ・第二小の記録ビデオ制作
- ・地域の人と一緒に記念写真
- ・学校をみんなで大掃除
- ・第二小の日を設定しお祭りをする
- ・閉校まであと〇〇日<>の看板設置



かつては定期的に行われていた天体観測

まだまだ様々な回答があふれていて、どれもこれも元気の内容です。実現可能なものもあれば、かなり難しいものもあります。でも、一つでも多く実現に近い形で、地域を挙げて応援していきたいと思いました。

# 赤東未来創造プロジェクトプロデュース

## レゲエからのメッセージ 『Big Up 赤東!』～地域の活性化に向けて～

開催日時 平成 28 年 6 月 18 日 (土) 12:30~15:30 (開場 12:00)

場 所 三水第二小学校体育館 後 援 飯綱町



当日は、レゲエ音楽には必須なこの COM-UNITY サウンドシステムが設置されます。

下 赤塩出身のレゲエ DJ EYE・JAY、APPLE EYE (アップルアイ) さんから、赤東の活性化に役買いたいと連絡をいただきました。そして彼の呼びかけでこの度同じく地元飯綱町出身のレゲエクルー達が集まる事となり、さらに、友人である世界でも評価の高いレゲエダンサー、I・VAN (アイバン) さんを迎え、赤東の未来を考える講演と、レゲエのダンスパフォーマンスを披露いたします。

レゲエは、シャマイカで成立されたポピュラー音楽で、独特なリズムが特徴です。気がつくとも自然に音楽に合わせて体が動き出し、ノリのいい話術と陽気なテンポに心地よく引き込まれていきます。表題の「Big Up (ビッグアップ)」はパトワ語で、「盛り上げていこう!」といった意味とのこと。

そんなレゲエ音楽の世界で活躍されている地元出身者たちの「ふるさとへの思い」「ふるさとの未来」「自分たちができることとは何か」等々を、音楽とダンスを含め大いに語っていただき、素敵なパフォーマンスをお楽しみください。

なお、当日駐車場が限られていますので、可能な方は乗り合いでお越しください。詳細については、新聞折り込みチラシにてお知らせいたします。

### 被災地支援の春まつり

5月1日、上赤塩のウッドファクターにて開催された『春だわっしょい!』では、町内外から700人近い来場者で賑いました。

赤東未来創造プロジェクトも前回好評だった手形アートと手作りストラップで参加。親子連れが多い会場にて大人気のブースでした。

このイベントでは、熊本地震の被災地復興支援という事もあり、その趣旨に賛同されたたくさんの方の協力のもと多大な支援金が集まりました。

こうした活動が、より多く赤東から発信されていく事は、活性化へ向けた原動力に繋がるに違いありません。



今後は土作りが重要な作業となりますが、制作については今年度では、まず陶芸に親しむ事として簡単な小物を作り、来年度に入り閉校記念作品の制作に取り組みたいと言う事です。ゆるやかですが、確実に赤塩焼き復活に一步步近づいています。

### 陶芸焼き釜移設 赤塩焼き復活への一歩

普光寺の故長崎基司様の遺族の方から、生前趣味で使用されていた陶芸窯を町にへと申し入れがあり、五月初旬に第二小のプール脇小屋に移設されました。併せてろくろ3基も譲り受けさせていただきました。

ちよつと第二小での取り組みとして『赤塩焼き復活に向けて』の学習活動があり、今後年間を通して陶芸に関する活動を展開していく予定であったことから、とてもグッドタイミングなプレゼントでした。